

KDDA news

京都ディスプレイ業界をもっと楽しく！



2025
秋
第5号

京都ディスプレイ装飾協会事務局 / 株式会社イマジン 経営管理部 井上真実 TEL:075-323-5564 FAX:075-323-5574 E-mail:kdda@imagine.jp

納涼Party ~“ベリーダンス”を体感!京都で奏でる千夜一夜物語~



【納涼会Party 報告】

去年は“ハワイアンダンス”で、そして今年は古代エジプト発祥・中東アラブ文化圏で発展したベリーダンス”をメイン企画として、会場である京都ブライトンホテルに参加企業22社・100名を超える会員の皆さまを迎え、暑い夏に負けない納涼Partyでとても盛り上がりしました！

まだ夏の光が残る夕暮れ18:30からすやきち・岩崎理事と京デ装協事務局長・井上真実さんの二人をメイン司会として、井上理事長開宴挨拶、納屋内副理事長の乾杯の挨拶に続く役員紹介の後、盛大に宴が始まりました。ホテル自慢の洋食大皿料理とビールを楽しむ中、日本最大級のベリーダンスコンペティ

ションを優勝され、現在プロダンサーとして大活躍されている美也古商会・杉山さんを筆頭に3名のダンサーが舞台上で“千一夜物語”さながらに華麗に舞い踊ります。最後は会員皆さまも席から立ちあがって、本場ベリーダンスを踊って十二分に体感することが出来ました！杉山さんとダンス教室の生徒さん、そしてこの企画に理解を頂きサポート頂いた美也古商会様、本当にありがとうございました！

その後も各社PRタイム・40個以上の豪華賞品が当たる大くじ引き大会が続き、歓声と笑いが絶えませんでした。楽しい時間あっという間に過ぎ去り、21時前に閉宴となりました。

この2年間は、Display装飾業に携わる会員各社のスタッフの方が持っておられる素晴らしい才能・特技を会員の皆様にご披露することをメイン企画としました。そして企画カラーである“華やかなハワイアン”や“優雅なベリー”のテーマに合わせ賞品をじっくり用意して参りました。また会員皆さんの特色や個性を発揮する各社PR時間を設け、業界内の懇親をより深めることを目指しました。如何だったでしょうか？私は会計に移りますが、引き続き岩崎理事、そして新たにシーマ・桐山理事が加わって新たな体制で納涼会を企画し盛り上げていきたいと思っています。

また来年、2026年の納涼会に乞うご期待！



株式会社 シーマ (左京区)

「五感に響く演出」

当社は1961年の設立以来、映像音響機器が急成長する時代を背景に、主にシステム設計、レンタル・メンテナンスを手がける技術サービス企業として発展してまいりました。

映像情報コミュニケーション全盛の時代となった現在も、その高い技術ノウハウを継承しながら、お客様に満足していただけるサービスの提供に努めております。

とりわけ当社は、映像と音を駆使した「五感に響く演出」で、お客様が伝えたいメッセージをより多くの人に、より効果的に、より深く印象づけるお手伝いを得意とする企業です。

そうした完成度の高いシステムをお客様に提供するために、企画、立案から設計、施工後のメンテナンスに至るまで、トータルにプロデュースいたします。今後とも、お客様のご要望にきめ細かくお応えするとともに、お客様の発展と社会への貢献を目指してまいりますので、一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



株式会社 茨木春草園 (中京区)

1914年創業の私たち「茨木春草園」は、造園・生花装飾・賞植木の三部門を軸に“花と緑”を生かした空間づくりに励み、造園では伝統技術を生かし四季の趣ある

景観を創り、生花装飾ではブライダル装花を通じて人生の門出に華やかな彩りを添えています。またディスプレイでは、三部門が連携することで屋内外の空間を調和させる装飾を強みとしております。

時を重ね育んだ技と感性を大切に京の風情とお客様のところに寄り添う美しさを追求し、日々の歩みを続けております。



古都徒然草 ～ つれづれなるままに感じたことを書き留めて ～

こんにちは。しんたろうです。今回もお付き合いをよろしく～。

最近2つの講演会に聴講者と司会という立場で関わりました。聴講したのは作家・鈴木 光司氏の講演会です。彼の代表作は「リング」「らせん」「ループ」のリングシリーズ3部作で、テレビ画面から這い出てくる、あの「貞子」は「ホラー」を代表する最凶キャラクターですね。

もう一つの講演会で司会の任に当たったのは、アーティスト、(有)カイカイキキ代表の村上 隆氏です。京都在住、世界各地での個展開催、有名企業・ビッグアーティストとのコラボ企画も数多く、昨年京セラ美術館で「村上 隆 もののけ 京都」では、ぶっ飛んだ作風・いで立ちに大注目でした。

両講演会の主催者も、講演対象者も、講演テーマも全く別々であったにも関わらず、とても興味深かったのは、鈴木氏と村上氏両氏が人生における決定機に、環境や選択を「GO or NOT GO」に絞り込み、主体的に選択を行ってきたということでした。鈴木光司氏は、小学生の頃から作家になって成功することを強烈に意識し、「作家になるために必要な事は何か」を常に考え、環境変化や行動の選択肢を「二者択一」に落とし込んで選択と挑戦を続けてきました。書き上げた「リング」は必ず成功する作品となることを信じ、イチオシの「リング」が意中の文学賞を獲れなかった挫折を乗り越えて、作家として時間を作る為に専業主夫や学習塾経営、出版社の選定等のギリギリの選択を続けた結果、「リング」がじわじわ口コミでの評価が上がり、映像化、ハリウッドでの映画化、関連グッズの商標権獲得等、逆転波乱万丈の作家人生となったとのことでした。

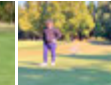
村上隆氏は、キリスト教を主体とする西洋美術の歴史とそこから生み出された価値観と支配層が全世界の美術界の金銭的価値決定を今なおコントロールしていることを見つけた上で、世界へ向かう才能を日本画から洋画に変更選択し、西洋美術ステージで成功するための理論構築/理論武装を軸とした選択と実践を重ねてきました。独自アートの観念が、たまたま世界感性にハマったのではなく、市場をコントロールしている世界感性を創り出す元締めは何かを研究し、それに当てはまるアート観念とそれを具現化した「art製品」を工房で成功確率を上げた形で大量発信していく…成功理論に裏打ちされたアート観念構築のための選択を重ねてきたということでしょうか。我々は、選択肢は多いほど良いと考えがちです。選択肢が多いほど、失敗の確率が下がると考えがち。しかし選択肢が多ければ多いほど、不幸を感じやすくなり、満足度が下がるという心理効果、認知バイアスを「選択のパラドックス」と言います。選択肢が増えるほど、最適な選択を求めるバイアスが強く、細かい違いを比較し始め、本質から遠ざかってしまうことです。選択肢を多く用意することは、緊張感と必要な覚悟を弱め、決定的なチャンスを見過してしまう、サッカーで例えると、貴方自身がゴールキックを決めなくてはならない本場の決定機を逃し、パスをしてボールを他に廻してしまい、結果的にゴールを奪えないということです。我々は日々の生活の中で小さな選択とそれに伴うちょっとした挑戦を数多く積み重ねています。全ての選択を二者択一に絞り込む必要はありませんが、失敗を過度に恐れ、安定を至上命題としてパス通しで終始するのではなく、自らの右足でゴールキックを叩き込む時を見逃したくないものです。



第52回 ゴルフコンペ







多数のご参加ありがとうございました。

お陰様で天候にも恵まれ、盛會にコンペを終える事が出来ました。

これも一重に皆様方のご協力の賜と感謝申し上げます。

優勝されましたジーク株式会社大賀 様には心よりお祝い申し上げます。

悲喜こもごもの結果とは存じますが、また次回に向けての発奮材料として頂ければ幸いです。

今回は2025年5月あたりを予定しておりますので、奮ってご参加頂きますようお願いしております。



KYOTO イベント・展示会紹介

十日ゑびす大祭 (初ゑびす)

会期 2026年1月8日(木)～12日(月・祝日) 会場 ゑびす神社

小品盆栽フェア 第51回 雅風展

会期 2026年1月9日(金)～11日(日) 会場 みやこめっせ



お知らせ

京都ディスプレイ装飾協会行事案内

2026年1月26日(月)に、新年会が開催されます。
(会場: ザ・サウザンド京都) ※詳細のご案内や出欠確認は追って配信いたします。



事務局 こぼれ話

忘年会では、皆様と楽しいひと時を過ごさせていただきありがとうございました。

たくさんの方々と交流できるとても有意義な時間でした。

さて、私事です。先日、以前から行きたかった徳島の祖谷蕎麦屋さんに行ってきました。

長年修行されたつなぎ一切無しの手打ち十割蕎麦はとても美味しく、またご主人はとても気さくな方で、まるで実家に帰ってきたような安心感を味わうことができました。

店舗の横には一瞬ビックリするようなご主人の作られた素晴らしい木の案山子がいっぱい！

お客様をどこまでも楽しませてくださる素敵なご主人。どこかに私がいいます。(笑)

新年会で、皆様とお会いできるのを楽しみにしております！



(イマジン井上)

次回予告

次号の発行は2月になる予定です。メインピックスは12月1日の忘年会と1月27日の新年賀詞交歓会です。万博イヤーも無事終わりを迎えるべき明るい未来に向かって、年賀詞交歓会では大いに盛り上がりましょう。また青年部会の立ち上げも大いに楽しみです。京都のディスプレイ業界は2026年ますます盛り上がりそうです。乞うご期待。

編集後記

昨年の冬に創刊いたしましたメルマガ「KDDAニュース」もはや1周年を迎え、第5号を配信する運びとなりました。お陰様で最近では「メルマガが見てるよ」という声をちらほら聞くようになってきて、京都のディスプレイ業界の発展のためにとやってきたことが少しずつ報われてきたようで大変嬉しく思っています。これからも会員様の紹介や情報の発信をどんどんしていきますのでご期待ください。皆様のご協力とご一読を心よりお待ちしております。(by M)

記事募集

掲載記事を募集いたします。ディスプレイ業界の最新情報や、名物社員の紹介、趣味の話など何でも受け付けます。新たな情報を共有してコミュニケーション豊かなフィールドを創っていきましょう。

お問合せ・ご意見・ご要望受付

KDDAニュースについてのお問合せ、ご意見、ご要望、掲載希望記事を随時受付しています。京都のディスプレイ業界がさらに盛り上がるような様々なご意見・ご提案をお待ちしております。お問い合わせは事務局まで。

京都ディスプレイ装飾協会事務局
株式会社イマジン 経営管理部 井上真実
TEL 075-323-5564 FAX 075-323-5574
E-mail kdda@imagine.jp

LINKS

一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会
<https://www.display.or.jp/>



国立京都国際会館
<https://www.icckyo.or.jp/>



みやこめっせ
<https://www.miyakomesse.jp/>



京都パルスプラザ
<http://www.pulseplaza.jp/>

